



バイオマス
発電

未利用木材からエコに発電し、みなさんの
家庭で使えるよう安全にお届けしています。



もっと、くわしく
みてみよう!

株式会社エフオン白河

職場見学可能です

住所/白河市大信中新城字塩沢45-5 https://www.ef-on.co.jp/corporate/outline/efon_shirakawa/
設立/2004(平成16)年 従業員数/35名(2025年1月現在) TEL:0248-54-5750

私たちの仕事

私たちは「木質バイオマス発電」で、みなさんの生活に必要な電気を作っています。この発電では木を燃やしてエネルギーを作ります。木が成長する間に吸収したCO₂と、燃やしたときに出るCO₂が同じ量なので、地球にやさしい「カーボンニュートラル」と言われています。使う木はすべて日本産で、福島県を中心に近くの地域から集めています。家を建てるのに適さない木や、建築工事が出た木材などを活用しています。作られた電気は、一般家庭約20,000世帯分!環境にやさしい電気をお届けしています。

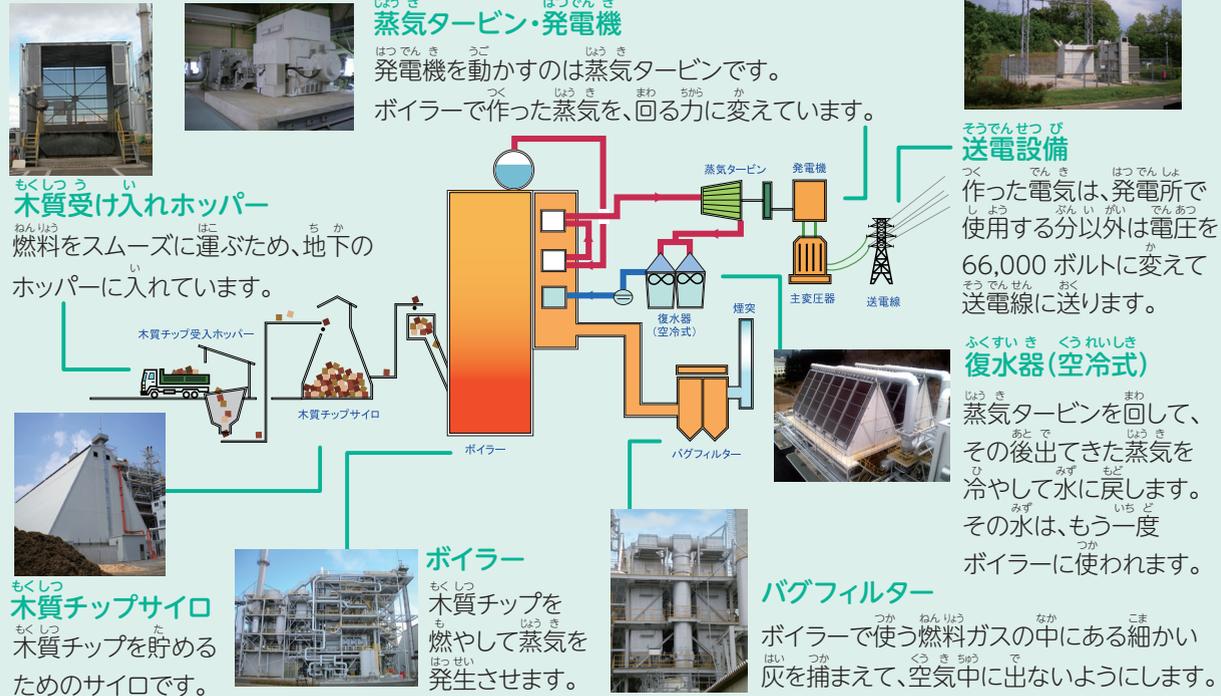


▲株式会社エフオン白河



木質バイオマス発電って具体的にどんな仕組み?

さまざまな機械をとおして安全に発電しています。



バイオマス発電所をどうやって管理しているの?



みんなで協力して、それぞれの仕事をしっかりこなすことで、安全に発電所を動かしています。

<p>1 燃料グループ</p> <p>木質チップの集荷・納入・在庫の管理をします。重機を使ってチップを混ぜたりして、適切な状態に保ちます。</p>	<p>2 運転グループ</p> <p>発電所全体の運転をコントロールしたり見守ったりします。機器がきちんと動いているか確認する所内パトロールも行います。</p>	<p>3 設備グループ</p> <p>安全に発電するために、機械の点検や、なにか問題が起きたときの対応もしています。</p>	<p>4 総務グループ</p> <p>現場でのサポートや事務の仕事も大切です。発電所をしっかりと動かすことができます。</p>
--	---	---	--

燃料の木質チップは大型ダンプなどの重機を活用して管理!

燃料チップを貯めるサイロの大きさは、25メートルプール約52個分の水面と同じくらいです。効率よく運ぶために、重機が大活躍しています。



▲トラックから降ろしたチップを移動させたり、混ぜたりします ▲サイロに燃料を投入します

エフオングループでは未来のために森林の保全活動に取り組んでいます。

森林はみんなの暮らしを守り、豊かにする大切な役割があります。この大事な役割を失わないように森をしっかり手入れして、未来に引き継ぐことが使命だと考えています。

働く人の声



運転グループ
円谷 真也 さん

バイオマス発電所でボイラー運転監視や点検をしています。不具合を見逃さず、安全確保に努めています。運転制御や試運転などで学んできた経験を活かし、実践することで、常に安定した電力供給をしていく「安定操業」に貢献できることがやりがいです。



設備グループ
榊島 奨 さん

発電所を止めないように設備を補修・改善する仕事です。重要な機器に大きなトラブルが発生しないように補修・工事計画することがなにより重要で、力を入れていることです。日本のインフラを支えているということがこの仕事の魅力です。